

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2025
令和7年10月29日発行
No.130

やまのべ議会だより

2025年10月号 VOL.130

読み聞かせにあわせて
「なでなでなでー!」

臨時会	新体制がスタート!	2～3
定例会	令和6年度の主な事業	4～5
決算特別委員会	暮らし向上にどう生かされたか	6～7
議案審議	より良いまちづくりを目指して	8～9
一般質問／提言書提出		10～11
議会報告会「未来を話す会」	よりよい町づくりのために	12～13
議会活動報告	新しいまちへの挑戦	14～15

写真／夏の図書室まつり
(関連記事 16ページ)

発行／山形県山辺町議会
編集／広報常任委員会

Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112

山辺町議会
ホームページは
こちら



あなたの声をお聞かせください

きららクラブ山辺(山辺町老人クラブ連合会)の皆さんからひとことメッセージ



高峰 朝子さん(根際白山会)
孫の子守りとパークゴルフ
が楽しいです。



笠原 壽さん(城西クラブ睦会)
健康のためにグラウンドゴルフ
で歩いてるよ。



会田 太郎さん(大塚長和会)
畑仕事が生きがい。みんなに
喜ばれるのが嬉しいんだ。



山辺町老人クラブレクリエーション大会の様子



佐藤 貞志さん(築北クラブ)
野菜いっぱい作ってるよ。
娘にもあげるんだ。



鈴木ハルヨさん(近江あけぼの会)
散歩やいろんな人とおしゃべりする
のが一番楽しいね。

鈴木 篤さん(大門いきいきクラブ)
昭和百年で私も金婚式。不満もなく幸せだな。

—私たちは皆さんの活動を応援しています—

表紙の説明



図書ボランティア「てんこもり」の夏の図書室まつり「よみかせ&ブックカフェ」が、山辺町中央公民館ロビーで8月2日(土)に開催されました。夏休み中の子どもたちに、本に親しむ時間を提供し、読育につなげるというイベントです。読み聞かせに手遊びなどを取り入れて行うことで、聞いている子どもたちも言葉に合わせて「なでなでなで」。キラキラと目を輝かせながら小さい子の頭をなでていました。とても楽しそうな参加型読み聞かせです。他にも、ブックカフェやゲーム、リサイクル本の無料配布なども行っていました。同じ日に開催された、子どもたち対象の「夏季学習会」も相まって大変な盛況ぶりでした。子どもたちの本に親しむ機会がもっともっと増えるといいですね。

編集後記

芸術の秋、スポーツの秋、おいしい山辺・実りの秋がやってきました。連日の猛暑日の中で9月7日に開催されたYAMANOBETOWN DAYフェスは、山辺町商店街賑わい創出・活性化促進事業補助金交付事業として、山辺町まちなか活性化推進実行委員会が主催し、本町商店振興会の共催のもと、盛大に開催されました。その日、大勢の人たちで賑わった会場には、たくさん笑顔が溢れていました。今号より新たな広報委員で「議会だより」を作成することになりました。毎号一人でも多くの方に手に取っていただき、読んでいただけるような紙面づくりに努めていきます。

日野 一春 記

■発行責任者
議長 武田 啓一郎
■広報常任委員会
委員長 竹 俣 幸一
委員 佐藤 裕真
委員 渡邊 真由美
委員 日野 春二

議会だよりがカラー写真で閲覧できます。



よく聞く、よく見る、 深く考える議会に

8月27日に臨時会が開かれ、議長と副議長が選出されました。投票により、議長に武田啓一郎議員、副議長に佐藤利和議員が選出されました。

また、各常任委員会委員、特別委員会委員も決定し、現任期における折り返し地点を迎える中、新しい体制での議会活動が本格的にスタートしました。

議長 武田啓一郎氏 副議長 佐藤 利和氏



議長あいさつ
武田啓一郎

このたび、議員皆さまのご推挙をいただき、議長の職に就かせていただきました。これまで以上に、町民の声を、よく聞く議会であること。町民の暮らしを、よく見る議会であること。町民のためになることを、深く考える議会であること。町の未来のため、何をすべき

きで、何ができるのか。新時代、次世代への地域コミュニティづくり推進と地域組織の連携をめざした議会活動を通して、町民の幸せな暮らしづくり、議員全員の力を結集していくよう努めていきます。

国内外の社会変動に翻弄され、混迷の度を深める町内産業活動の再起再興。気象変動による自然災害への備えと対策。人口減少に伴う地域活力の持続的な取り組み課題などと、正面から向き合いながら、山辺町の元氣、町民の元氣づくりに、町民皆さまと共に歩み努めていきますので、よろしくお願いいたします。



副議長あいさつ
佐藤 利和

令和という新しい時代の幕開けは、コロナ禍が社会生活を大きく変えることから始まりました。今まで、当たり前のことのように思われてきたことが、理由もなくできなくなってしまう、目の前に大きな課題として提示されております。それらは人それぞれの与えられ

た環境で違いはありますが、日々の生活を送る上で重要なのは、家族の支えであったり、友人との語らいだったり、心のつながりが支えになると思います。

議員として6年が経ち、このたび副議長の任を与えていただきました。山辺町に生まれ、先代からお世話になってきた人間として、少しでも恩返ししたいというのが正直な気持ちです。多くの町民の方々のご意見をお聞きして、議長の補佐、議会の活性化への取り組み、町民の方々との交流を通して町政発展のために活動して参ります。

各委員会等の構成

◎委員長
○副委員長

◇総務文教常任委員会

◎樋口 和男 ○遠藤真由美

武田啓一郎 鈴木 誠也

村山 幸一 日野 一春

◇厚生産業常任委員会

◎鍋倉 竹志 ○神保 稔

渡邊 裕二 佐藤 利和

竹俣 朋 三浦 正好

◇広報常任委員会

◎竹俣 朋 ○村山 幸一

遠藤真由美 渡邊 裕二

佐藤 利和 日野 一春

◇議会運営委員会

◎神保 稔 ○遠藤真由美

樋口 和男 鍋倉 竹志

佐藤 利和 竹俣 朋

◇国道458号改良促進特別委員会

◎鍋倉 竹志 ○渡邊 裕二

樋口 和男 遠藤真由美

神保 稔 佐藤 利和

竹俣 朋 三浦 正好

鈴木 誠也 村山 幸一

日野 一春

◇最上川中部水道企業団議会議員

鍋倉 竹志 神保 稔

竹俣 朋

◇山形広域環境事務組合議会議員

樋口 和男 渡邊 裕二

◇山辺町監査委員（議選）

遠藤真由美

◇山辺町振興審議会委員

遠藤真由美

◇山辺町都市計画審議会委員

渡邊 裕二

◇山辺町社会教育委員

佐藤 利和

◇山辺町ふるさと資料館運営委員会委員

村山 幸一

◇山辺町国民健康保険運営協議会委員

樋口 和男

◇山辺町介護保険運営協議会委員

鍋倉 竹志

◇山辺町地域包括支援センター運営協議会委員

鍋倉 竹志

◇山辺温泉保養センター運営協議会委員

鍋倉 竹志

◇民生委員推薦会委員

武田啓一郎

◇社会福祉協議会監事

鍋倉 竹志

◇山辺町観光協会理事

佐藤 利和

新体制による活動がスタート！



厚生産業常任委員会



総務文教常任委員会

持続可能な地域社会の構築を目指して

認定

第3回
定例会
9/8~9/19

定例会のあらまし

第3回定例会が9月8日から9月19日までの12日間の会期で開催され、議案審議や令和7年度補正予算を審議しました。また一般質問では2人の議員が質問を行いました。

9月10日に令和6年度一般会計、3つの特別会計ならびに2つの公営企業会計決算について説明があり、ただちに決算特別委員会を設置し、付託しました。

最終日に決算特別委員長より審議内容が報告され、全会一致で可決されました。

令和6年度 主な 重点事業

山辺温泉保養センターの運営などに
5867万円

子育て支援医療費給付のために
(高校卒業相当まで)
7469万円

小中学校の給食費無償化に
5858万円

シティプロモーション推進
(町の魅力の情報発信など)のために
1741万円

住宅建設などの
補助に
524万円

防災備蓄品などの
ために
4562万円



排せつ物などを1回ごとに密封する臭わないトイレ

ふるさと応援寄附金の募集や
発送などのために
3億5414万円
ふるさと応援寄附金積立に
6億5786万円

コンビニで住民票などを
取得できるようにするために
7648万円



SNSで山辺町の魅力発信

会計別決算明細

項 目		歳入決算額	歳出決算額
一般会計		74億4386万6689円	72億2138万3505円
特別会計	国民健康保険	12億9514万6844円	12億7805万6004円
	介護保険	15億714万6960円	14億7642万2507円
	後期高齢者医療	2億486万2673円	2億287万73円
	計	30億715万6477円	29億5734万8584円
合 計		104億5102万3166円	101億7873万2089円

公営企業会計決算

項 目		収益的収入	収益的支出
簡易水道事業会計		2372万7772円	3553万7623円
公共下水道事業会計		3億7113万7962円	3億5560万6275円

監査委員報告



遠藤 剛 代表監査委員

令和6年度山辺町決算結果は、総体的に、法令・条例及び規則に準拠し処理されており、予算の執行も適正である。

歳入においては、収納対策の強化の成果と、年度を重ねるごとに順調に増加しているふるさと応援寄附金の取り組みを評価する。また、実施された公有地の処分など、今後においても未利用や遊休となっている公有財産の有効活用や効率的な維持管理の観点から、計画的な運用に努め、財政負担の軽減化を図られたい。

歳出においては、引き続き、限りある財源を最大限に活用し、効率性・有効性を考慮した施策の積極的な展開をととした町民参加型の協働のまちづくりの推進を望む。そのためにも、PDCA*サイクルを意識した施策の検証と見直し、改善の実施に加え、職員一人ひとりの能力が最大限に発揮できる職場環境の確保などにより、効率的・効果的な予算執行を図られたい。

最後に、令和6年度においても財政健全化比率の将来負担比率はなしとなったが、引き続き、将来の人口を見据えた財政健全化と中長期的な公共施設管理計画に基づく適切な財政管理を望む。

※ Plan (計画)・Do (実行)・Check (評価)・Action (改善)、この4つを繰り返すことにより継続的に改善していく手法のこと

暮らし向上にどう生かされたか 決算特別委員会

厚生産業 第2分科会 町民生活課・保健福祉課・産業課・農業委員会 建設課

Q デジタル田園都市国家構想交付金はどんな事業に使われたか。

A 住民票などのコンビニ交付システムの構築経費に使用され、2分の1が補助金となっている。(町民生活課)

Q 記念撮影ブースの利用状況は。

A 婚姻届や出生届を出された方に、記念撮影の声がけをしている。(町民生活課)



記念に一枚、はいチーズ

Q 高齢者総合対策事業の緊急通報システムの運用実態は。

A システムを利用した実績は無かったが、まだシステムを知らない方もいると考えられるので、広報紙や民生委員を通じて周知を徹底していく。(保健福祉課)

Q 保育所等性被害防止対策の事業内容は。

A 性被害を未然に防止するためにパーテーションなどの設置に対して補助金を交付している。(保健福祉課)

Q 買い物リハビリサービスの利用促進をもっと進めてはどうか。

A 現在22名の登録に留まっているが、包括支援センターの積極的PRにより対応したい。(保健福祉課)

Q 鳥獣被害対策をどのように進めるのか。

A イノシシの被害防止対策としては電気柵の設置や、放棄されている果樹の撤去などを推し進め、合わせてクマの被害防止に努めたい。(産業課)

Q プレミアム付商品券事業補助金の成果と電子マネーへの取り組みは。

A プレミアム率は10%。換金率99.9%で町内の消費拡大に貢献した。電子マネーへの取り組みは町の業者の受け入れ体制を踏まえて、商工会との協議をさらに深め検討していきたい。(産業課)



物価高を乗り越えよう

Q 路盤再生舗装整備事業の内容は。

A 辺地計画に沿って計画を進めており、町道松山線の整備を優先的に行った。(建設課)

チェック Q&A

議長を除く全議員が所属する決算特別委員会が9月10日に設置され、委員長に神保 稔議員、副委員長に鈴木誠也議員を選出しました。11日、12日は第1分科会(総務文教関係)、16日、17日は第2分科会(厚生産業関係)の審査を行い、19日の本会議にて全員一致で認定しました。

総務文教 第1分科会 総務課・防災対策課・政策推進課・美力発信課 税務課・会計課・教育委員会教育課・議会事務局

Q 毎年職員の健康診断を行っているが結果はどうか。健康管理も含め、職場環境への取り組みは。

A 前年度と比較し、異常なしの数も増えてきている。若手職員向けの健康セミナーや産業医による個人面談を実施。毎年職場環境の調査を行っている。(総務課)

Q 令和6年度町防災訓練の成果は。女性の参加を増やすような考えはあるか。

A 参加者は約400名で5年度の約250名と比較しても増加したが、やはり女性の参加が少なかった。今年度は防災を身近に感じてもらえるようフェスティバル形式での実施を計画。防災士の連絡会組織も発足したので女性防災士も増えるよう働きかけをしたい。(防災対策課)



もしものための訓練が大事

Q ふるさと応援事業「美力アップ補助金」の件数は。

A 申請件数は2件。1件あたりの補助金上限額は50万円。主な内容は真空包装機の購入とパッケージデザインの委託料である。(美力発信課)

Q 昨年10月に開催した町制施行70周年記念事業委託料の内容は。

A 音楽フェスの音響機器設置や舞台設営費用、食の分野で出店するブースの電気工事費などとして業者へ支出した。プロジェクトマップは企業からの寄付により無償で提供された。(美力発信課)



町内の全児童も参加した70周年フェス

Q 職員の頑張りで収納率が上がっている。実施した対策は。

A 昨年度から催告書(兼)差押予告通知書を発送することで窓口相談が増えている。まずは納税相談で差し押さえになる前に分納などを進めていく。(税務課)

Q 部活動地域展開について町の進捗状況は。

A 国は令和7年度までを改革推進期間と示している。7年度は「山辺町ジュニアクラブネットワーク協議会」を立ち上げた。さまざまな課題については話し合いを重ねている段階。(教育課)

町の魅力をさらにアップ

町民の安全・安心を守るために

議案審議

令和7年度一般会計補正予算（第3号）
歳入歳出それぞれ5億5655万円を追加し
総額76億8962万円に

人事案件
教育委員会委員の任命に同意
三浦愛未さん（大寺）

鍋倉 竹志 議員
神保 稔 議員

最上川中部水道企業団議会議員の選挙
辞職によって欠員となった議員の補充を行うもの。議長の名指推薦により当選した。

選挙

※令和8年4月1日以降に実施予定

条例の一部改正

山辺温泉保養センターの使用料（入浴料）を物価高騰などにより値上げに

入浴割引回数券 (13枚綴り)	1回券	
	大人	小学生
(現行) 3,500円 ↓ (改定後) 4,000円	(現行) 350円 ↓ (改定後) 400円	150円 (変更なし)

報告
（健全化判断比率及び公営企業資金不足率の報告）

一般会計の実質収支額は黒字で、実質赤字比率、連結実質赤字比率は発生していない。実質公債費比率は9.5%で、早期健全化基準の25%を下回っている。公営企業資金将来負担比率（赤字額）も発生せず、健全な財政運営がなされている。公営企業会計にかかる資金不足比率（赤字額）はない。

家計に例えると…

※1 実質赤字比率…年収に占める赤字額の割合

※2 実質公債費比率…年収に占めるローンの返済額の割合

※3 将来負担比率…将来において、返済や支払いが必要となる金額（ローン残高など）の年収（貯金を含めた額）に占める割合

請願第3号

請願名	OTC類似薬*の保険適用除外の中止を求める請願		
請願者	山辺町革新懇話会 峯田 博		
趣旨	2026年度から「OTC類似薬の保険適用除外を実行する方針」の中止を求めるものです。		
紹介議員	日野 一春	結果	不採択
理由	国民皆保険制度の持続可能性や国の財政全体を踏まえて判断されるべき国政課題であり、地方議会が一方向的に「中止」を求めることは適切ではないため。また、現時点では、町民への具体的影響について十分なデータや根拠が示されていないため。		

※OTC類似薬とは…OTC医薬品（処方箋なしで購入できる市販薬）と成分や効果が似ているが、医師の処方箋が必要な医療用医薬品をさします。

令和7年度 山辺町一般会計補正予算

主な補正内容

- ふるさと応援事業（ふるさと納税の増により）
 - ・ふるさと納税事業支援サービス委託に……………5987万円の増
 - ・ふるさと応援寄附記念品美力アップ補助として……………227万円の増
 - ・ふるさと応援基金への積立に……………3億円の増
- 福祉灯油購入費の補助（低所得の高齢者世帯などに）……………340万円の増
- 結婚新生活支援事業へ（利用者の増により）……………180万円の増
- さくらんぼなど農林水産物の温暖化および高温少雨対策に……………281万円の増
- 大曾根揚水機場の突発事故の復旧助成に……………921万円の増
- 町道北垣船町線の補修に……………2500万円の増
- Jアラート受信機などの更新に……………478万円の増



災害情報をいち早く

特別会計補正予算

会計名	増減	総額
国民健康保険特別会計	732万円の減	13億7953万円
介護保険特別会計	3379万円の増	16億4545万円
後期高齢者医療特別会計	188万円の増	2億1472万円

公営企業会計補正予算

会計名		増減	総額
公共下水道事業会計（収益的事業）	収入	817万円の減	3億6576万円
	支出	1484万円の減	3億3101万円
公共下水道事業会計（資本的支出）	支出	24万円の減	3億1757万円

※事業実績見込みによります。



一般質問

町政のここはどうする？

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

9月の定例会では、2名の議員が一般質問を行いました。

むらやま こういち
村山 幸一

孤独孤立対策

「誰一人取り残さない社会」を
どう実現していく

ひの かつはる
日野 一春

空家対策

空家の実情と問題点、
解体処分への助成制度を

定例会のお知らせ

今回の定例会は12月です。
傍聴については、町ホームページをご覧ください。
電話 023-667-1117（議会事務局）

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な
質問と答弁を要約して掲載しています。



孤独孤立 対策

「誰一人取り残さない社会」を
どう実現していくか その具体策は



村山 幸一（町長）
共有や連携を図り、人と人との
つながりをつくっていく

質問 孤独・孤立を感じ
ている人へ、これ
までどのような支援あ
るいは取り組みをして
きたか。また現状をど
う捉えているか。

増加により、また近隣
の連帯意識の希薄化が
進みつつあり、あらゆ
るライフステージで誰
もが孤独・孤立状態に
陥りやすい状況下にあ
ると捉えている。

答弁 町では、孤独・孤
立対策として、高
齢者に対しては、看護
師などが年に1〜2回
見守りを兼ねて家庭訪
問している。昨年度は
延べ317件訪問した。
また子育て支援セン
ターでは子育て広場を
開催し、子育て世帯の
孤独・孤立の不安の解
消に努め、延べ1508
人が利用した。さらに、
ひきこもりなどに心
のある方には、村山保
健所と連携し、相談に
応じている。

質問 孤独・孤立対策推
進法の施行を受け
て、山形県が今年4月
設立した「やまがたつ
ながり支え合いネット
ワーク（山形県孤独・
孤立対策官民連携プロ
ジェクト）」に町はど
う関わり、生かしてい
くか。

答弁 県が中心となり、
これから実態調査
をはじめ、情報発信、
普及活動を目的とした
ポータルサイトを作成
していく。町におい
ても、町社会福祉協議会



誰もが集まりやすい場をつくり、孤独・孤立の解消を
～近江公民館・居場所づくり元気だかいより～

質問 「誰一人取り残さ
ない社会」をどう
実現していくか。

答弁 現行の施策や取り
組みなどの課題を
整理し、引き続き関係
団体と連携を図りなが
ら、互いに支え合い、
人と人とのつながりを
つくっていくことで実
現していきたい。

や関係団体との複合
的・広域的な連携強化
を図り、孤独・孤立を
予防する地域づくりの
ネットワーク化を推進
していく。

空家対策

空き家の問題点と 解体への助成は



日野 一春
（町長）
各課が分野横断的に連
携し取り組む

質問 空き家の軒数はど
の程度把握してい
るか。

た対応策を検討する。

答弁 把握している空き
家の件数は令和4
年度の実態調査で80戸、
令和6年度末で73戸。

質問 建屋はもちろん敷
地の雑草・立木な
どの困りごと相談はあ
るか。

答弁 雑草や立木による
敷地越境の相談は
11件、屋根のトタン剥
がれ、建物の一部崩壊
といった近隣に危険を
及ぼすような管理不全
に対する相談は10件。
所有者などに適正な管
理を依頼し改善を促し
ている。動物に関連す
る相談はない。

質問 空き家相続人の連
絡先などの把握状
況は。

答弁 所有者・管理者・
相続人は固定資産
課税台帳や登記、住民
票、戸籍などの各種情
報、聞き取り調査など
により可能な範囲で所
有者などの把握をして
いる。調査をつくして
も所有者などを特定で
きない場合や相続放棄
などにより所有者など
がない場合には、弁
護士などと連携を図っ

質問 解体費が年々増加
し、空き家処分の
壁になっている。全国
市町村の4割ほどに補
助金制度があり、最大
額は30〜50万円。解体
費用に町が助成する制

度
は。

答弁 老朽危険空き家解
体事業補助金制度
を実施している。この
制度は、町民の安全・
安心の確保や住環境の
改善などを図るため老
朽化した危険な空き家
の解体を行う場合に費
用の一部を助成するも
の。交付要件は倒壊な
どの危険性が高いと判
定した場合、補助金額
は事業費の2分の1、
上限50万円。ホーム
ページや広報紙などで
制度の概要や申請様式
を掲載している。



解体作業中の空き家

未来を見据えた政策を

10月14日に次の内容で政策提言
書を町に提出しました。

1. 職員の健康面に配慮し、職場
環境整備や業務量把握による適
正な人員配置を行うとともに、
職員資質を高め行政サービスの
向上を図ること。
2. 女性の防災活動への参加を促
進するとともに、男女ニーズの
違いにも配慮した避難所運営に
より、安全・安心の確保に努め
ること。
3. 「ふるさとづくり事業基金」の
有効活用を検討し、町の活性化、
地域の振興を推進すること。
4. 観光資源の質の向上を図り、
交流人口や関係人口を増やし、
経済波及効果を高めていくこと。
5. コロナ後の入浴者減や料金改
定などの影響を踏まえた運営改
善により、山辺温泉保養センタ
ーの持続可能な運営を図ること。
6. デマンドバスの制度や利用方
法の広報活動とおした周知と、
誰もが安心して利用できるよう
利便性を高め、利用促進に努め
ること。
7. 輝らりやまのべ健康教室につ
いて、さらなる充実による健康
延伸を図り、町財政の負担軽減
にもつながるよう努めること。
8. 若手就農者の確保と定着支援
を強化し、地域農業の持続性確
保と安定した農業経営を実現で
きるよう努めること。
9. 老朽化インフラの定期的な点
検に基づく計画的な更新や補修
を進め、持続可能な整備に努め
ること。
10. 中学校部活動の地域展開にお
けるさまざまな課題について協
議を進め、当町に見合った連携
体制のもと、円滑に移行を進め
ること。

（提言書に則し、わかりやすい文言にして
掲載しています）



議長から町長へ提出

未来を話す会

第15回議会報告会

テーマ「ずっと暮らしたいまちにするためには」



武田 豊さん
(第2山辺地区福祉推進員会)

福祉推進員の任務がきちんと確立されていないし、存在を知らない人もいます。町が中心となり、知らしめて欲しい。お茶のみサロンを開催しているが、高齢者の足がない。推進員個々の送迎では限界がある。

デマンドバスも良いが、高齢者のお茶のみサロンの足として、役場のバス使用体制などをつくってほしい。買い物リハビリは評判がいい。もっと広めて欲しい。



田中 和夫さん
(第3山辺地区福祉推進員会)

中学校部活動の地域移行を支えているのは、各スポーツ協会の団体やボランティアの指導者だ。スポーツ推進計画のアクションプランが作られておらず、社会スポーツの推進が図られていない。スポーツが定着するまちづくりに向けて、しっかりとお願いしたい。

歴史とスポーツをつなげたイベントも考えられる。歴史的なところを巡るウォーキングもいい。以前のように若者がイベントを企画しやすい仕掛けも必要では。元気なまちづくりを目指してほしい。



沼尻 明男さん
(山辺の里スポーツクラブ)



武田 美和さん
(山辺町郷土史研究会)

コラボって素晴らしいと思った。協力できることがあればやりたいと心動かされた。しかし実現のためにはコピー代がネックとなる。コピー機を一台、非常利団体専用として設置できないだろうか。



稲村 和之さん
(グループ農夫の会)

大蔵の棚田は、地域が誇る貴重な文化であり環境の財産だ。歴史の象徴でもある。今ある資産財産を大事にして、いかに次の世代に繋げていくかがキーワードだ。

スポーツと文化の振興については、中央公園体育施設を交流拠点として町を活性化すること。また、若者の意見と活力を取り入れ、情報を発信することだ。



村山 賢司さん
(山辺町郷土史研究会)

山辺町ふるさと資料館の保管庫は貴重な資料や書物で足の踏み場もない。一般の方が閲覧すべき歴史本もたくさんある。耐火性のある保管庫が必要。また、近隣市町で、年表がないのは山辺町だけだ。

子ども向けの山辺町史副読本の必要性を感じている。安達峰一郎博士のわかりやすい本もない。



川村 陽子さん
(図書ボランティアてんこもり)

山辺町図書室に小学生向けの山辺町の歴史に関する本がない。町の成り立ちや産業など、いろんな歴史が1冊にまとまったものがあれば、自分の町を誇りに思いながら育つことができると思う。

子どもたちのイベントを4団体で共同開催した。これからの地域おこしは『コラボ力』が重要。お茶のみサロンにもてんこもりが参入できる。郷土史研究会と図書室、スポーツと歴史、協力しあうことで活性化が生まれる。



齋藤 政彦さん
(山辺町商工会)

読み聞かせのニーズが多様化している。読み聞かせ講座・スキルアップ研修開催に、町として力を貸してほしい。町全体での子育て応援となり、地域福祉の推進にもつながると思う。

町を盛り上げたいと一生懸命頑張る方が会を発足させるが、数年で途切れることが非常に多い。ボランティアに携わる人が集まって、今回のような意見交換の場を設けることが地域おこしには大事なのではないか。



大沼 砂織さん
(図書ボランティアてんこもり)



遠藤 恵さん
(やまべ学童クラブ)

長期休みにいろんな経験をさせたいが山辺町内に屋内児童遊戯施設がなく、町外へ連れていかざるを得ない。町内に施設があれば、町内外から子どもも親も集まり、親同士の交流の場にもなる。



堀江 陽さん
(一般参加者)

町外在住だが参加した。山辺町の防災訓練時にワークショップを行う予定。民間企業もコラボなどで協力できるのではないかと。民間も含めた連携を町として検討してもいいのではないかと。

(紙面の関係上、一部編集して掲載しています)

発言のほかにアンケート用紙にご記入いただいたご意見も紹介します

- ・高齢者の移動手段について、今後の対応を話す場を設けて欲しい。
- ・山辺町スポーツ推進計画をみなさんに読んでもらいたい。
- ・ボランティア団体、民間企業、事業者との連携を広く活用することも大切ではないか。



ご参加いただきありがとうございました

未来を話す会（第15回議会報告会）を、役場庁舎3階本会議場にて、7月25日午前10時から開催しました。今回は『地域福祉の推進』『スポーツ・文化の振興』『地域おこし（地域の活性化）』の3つのサブテーマを設け、9団体16名の方から参加いただき、議員席から貴重なご意見を頂戴しました。閉会後には名刺交換される方もいるなど、皆さんのお役に立てたのではないかと思います。

寄せられた声には、各委員会ですっかりと議論を重ね、見える議会、開かれた議会の実現に努めてまいります。

新しい町への挑戦

町の財産を生かし、
うるおうまちづくり

主な活動（令和7年7月～9月）

議会運営委員会（8/12、8/27、8/29、9/19）	正副議長委員長会議（8/12、8/26、9/24）
総務文教常任委員会（8/18）	議会報告会（7/25）
厚生産業常任委員会（8/19、9/8）	議会報告会打合せ（7/15、8/7）
広報常任委員会（7/2、7/14、8/7、9/8、9/30）	正副議長行政視察（7/15）
全員協議会（8/25、9/1）	例月出納検査（7/22、8/20、9/22）
決算特別委員会 （9/10、9/11、9/12、9/16、9/17、9/19）	朝日・山辺両町議会議員協議会役員会（9/24）
	山形広域環境事務組合議会（7/29）

かがり火コンサート



一斉立哨



さまざまなイベントにも 参加しています

二十歳を祝う会



畑谷城灯籠流し



本町 DAY フェス



近隣市町のイベント情報

イベント	期 日	場 所	内 容	問合せ
蔵王樹氷まつり	令和7年12月下旬～ 令和8年2月下旬	蔵王温泉スキー場内	樹氷のライトアップ 等	山形市観光協会 Tel.023-647-2266 山形市観光戦略課 Tel.023-641-1212
山形市初市	令和8年1月10日(土)	山形市十日町から七日町、 国道112号	縁起物をはじめとした木工品や 野菜の販売、一般露店やキッチンカーが立ち並びます。	山形商工会議所 Tel.023-622-4666 山形市観光戦略課 Tel.023-641-1212
第40回 上山城まつり 2025	令和7年11月2日(日)、 3日(月・祝)	上山城	ステージイベントやマルシェを 開催します。	上山城郷土資料館 Tel.023-673-3660
中山町初市	令和8年1月14日(水) 午前10時30分～	中山町いずみ ひまわり温泉ゆ・ら・ら前	商売繁盛を願い江戸時代から続 く伝統行事「初市」	中山町観光協会事務局 Tel.023-662-2114

私たち議員は本会議場や会議室などで協議をすることが非常に多いです。でも時には外へ飛び出して行政視察や外部での研修を行ったり、各団体や地域の皆さんと交流を図ったりしています。令和7年7月から9月の議会活動・議員活動の一部を紹介します。ぜひご覧ください。

見やすく、わかりやすく！

山形県町村議会議長会の広報研修会（議会広報クリニック）が7月15日にビッグウイングで行われ、委員会のメンバー5人が参加しました。私たちが提出した議会だよりについては「写真が素晴らしい。表紙も紙面のスナップも言うことがない」と最高の講評をいただきました。

また、9月1日より、広報常任委員会のメンバーが代わりました。新しい感性を取り入れながら、これからも皆さんに読んでいただける紙面づくりを心がけ、活動していきます。



皆さんのところへ

おじゃまして～す

7月25日に第15回議会報告会“未来を話す会”を開催しました。その中で、「地域おこしの答えを出すのは難しいが、ボランティアなどの団体に携わる人が集まって、今回のように意見交換の場があることが大事なのではないか」という貴重な意見をいただきました。

まさしくそのとおり！ そのような機会として、議会には『出前議会』があります！！

私たち議会は動きます。皆さん、ぜひ一緒に、まちづくりなどについて気軽に色々なことをおしゃべりしませんか。そして、一緒にこのまちを【ずっと暮らしたいまち】にいきましょう。

出前議会

まちづくりや
地域のあんなことこんなこと
一緒におしゃべりしませんか

皆さんの声をお聞かせください。
地域の集まり、子ども会育成会、職場、各種団体、
団体の合同でもOKです。
土日祝日、夜間でも大丈夫。
ご指定いただいた会場に、私たち議員が伺います。
お近くの議員まで気軽に声がけください。